

遺言書をパソコンで作る時代に

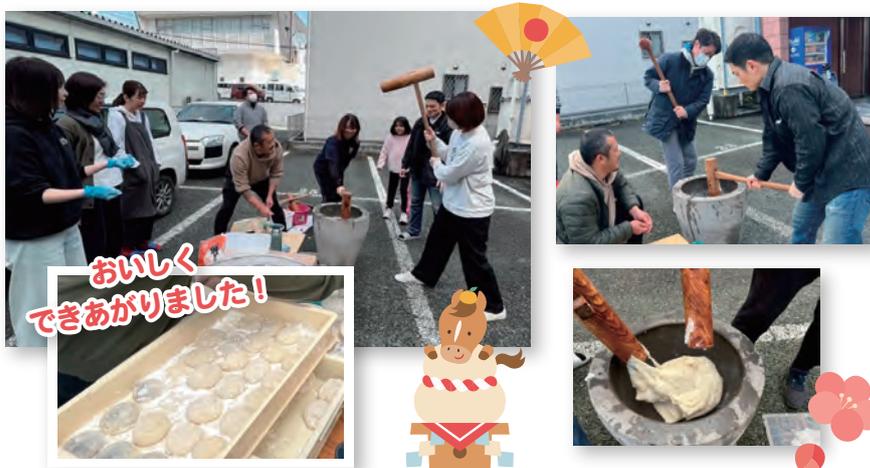
遺言書がパソコンで作れたらいいのに…。現在の民法では、自分で遺言書を作成する場合、本文は「手書き」しなければなりません。遺言書は「家族への最後のラブレター」ですから、字句の修正はできれば避けたい(訂正線は見苦しい)。だから、間違ったら書き直し、ということで、書く作業がとても本人の負担となることがあります。昨今のデジタル技術の発展を踏まえ、現在、パソコンで遺言書を作れるようにするための法改正審議が進んでいます。遺言書がパソコンで作れるようになると、遺言書を作る人が増えて、円満相続につながっていくと期待しています。



司法書士法人あかりテラス  
相続専門行政書士  
山下 託史



新しい年もいい一年に



あかりテラスの職員一同で餅つきをしました。せっかくなら「臼と杵で」ということで知人から借用し、昔ながらの「ペタンペタン」。最初はぎこちなかった「つき手」と「返し手」の息も徐々に合ってきて、全部で3升分の餅米をつき上げました。つき立てのお餅は粘りがあってとっても美味しく、みんな思い思いの味付けで次々と頬張っていました。新しい年も良い一年になりますように。

あかりテラス認定相続漫才師のひゅうま(8)です。僕はKingGnu(キング・ヌー)というバンドが大好きで、特に「破裂」という曲に強い思い入れがあります。大学4年生の留年が決まった夜、頭の中がうるさすぎて、何か音を流さないと耐えられませんでした。親に何て言う?これからどうする?考えが止まらず、とりあえずKingGnuのプレイリストを再生。何曲流れても落ち着かない中、「破裂」の出だし「もう精一杯だろ」が、不意に胸に刺さりました。「わずかな光を辿ってさ 生きるんだ」という歌詞に、不思議と背中を押された気がしました。その勢いで父に進路を相談し、出てきた名前が、あかりテラス。その後なんとか無事に卒業もでき、あれから約4年。留年で止まったと思った人生は、今もちゃんと前に進んでいます。「破裂」は、今でも僕の原点の一曲です。

あかりテラスの「クセつよ!」

あかりテラスの「クセが強い」(クセつよ)職員たちが、自分自身のこだわりの世界を発信します。



▲念願の家族参戦!  
(+親友)